殻

11画

一 十 ⺹ 売 殼 殻 殻（はねる）

（くん）から　（おん）カク

なりたち 物を覆う形の冖と出の意味の凵と、投げうつ意味の殳との会意字。厚い皮状の物で覆われた物を、外皮を破って中味を取り出す意味の字だが、〝外皮〟の意味に用いられる。〝覆い・から〟のこと。

いみとじゅくご

▼から。外皮。

地殻…地球の外皮の部分。

用例 地震は地殻の変動などで起こる。

甲殻…カメの甲や貝などの殻。

例 甲殻類（エビ・カニなど、甲や殻で身を覆っている動物。）

貝殻…貝の殻。

卵殻…卵の殻。

穀

【6年】

14画

十 ⺹ 売 穀 穀 穀 穀（はねる）

（くん）　（おん）コク

なりたち からの意味の殻と稲の意味の禾との会意形声字。実が殻に覆われている〝米〟つまり、〝もみ〟を表した字。転じて、もみのように殻に覆われている物をすべて穀物という。

いみとじゅくご

▼殻に覆われた物。

穀物…殻に覆われた物。米などの田畑で取れる作物。

五穀…米・麦・きび・あわ・まめの五つの穀物。また、穀物全体をさしていう。

米穀…米のこと。また、米やその他の穀物のこと。

脱穀…穀物の殻を取り除くこと。特に、もみからを取り除くこと。もみから殻を取り除いたものを玄米といい、玄米をついて白くした米を精米（白米）という。

よみかた 穀倉・穀類・雑穀

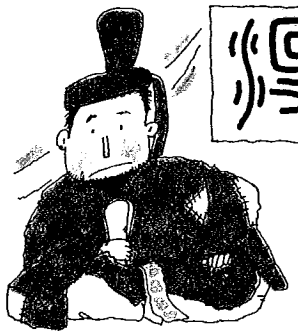
没

7画

氵 氵 氵 氵 没 没（はねる）

（くん）　（おん）ボツ

なりたち 旧字体は没。渦まく水に手を入れて物を取り出す意味の殳と、氵との会意形声字。水の中にすっぽりとはいることを表した字。水にもぐること。〝しずむ〟こと。転じて、物が〝なくなる〟ことをいう。また、〝死ぬ〟こと。



いみとじゅくご

▼しずむ。

沈没…水の中に沈むこと。

▼はまりこむ。

没入…物事に深くはまりこむこと。

没頭…物事に熱中すること。

用例 研究に没頭する。

▼なくなる。なくす。

没我…（物事に熱中して）自分を意識しなくなること。

没却…ないようにすること。

没交渉…他人との交渉（かかわりあい）をなくすこと。交際を絶つこと。

▼死ぬこと。

没後…死後。死んだ後。

没年…死んだ年。

▼おちぶれる。

没落…落ちぶれること。

用例 没落した貴族。

よみかた 没収・陥没・出没・日没・病没・埋没

般

10画

⺼ 舟 舟 舟 舟 般 般（右上へはらう）

（くん）　（おん）ハン

なりたち 古い字形は般で、棒を持って打つ意味の殳と舟との会意字。棒などを使って舟をおし動かすことを表した字。舟の方向を変えること。舟を〝めぐらす〟こと。〝先般・今般〟など接尾語として上の言葉の補助に使われることが多い。

いみとじゅくご

▼総じて。一様に。同等のことがら。

一般…❶総じて。**用例** 一般に出来が悪い。❷普通。**用例** 一般の会社。

全般…全体。ある物事が全体に及んでいること。**用例** 幼児全般にありがちな欠点。

▼上の字に附属して、その働きを助ける。接尾語。

今般…このたび。今回。

先般…先ごろ。このあいだ。

各般…いろいろ。それぞれ。

用例 各般の事情。

諸般…もろもろ。いろいろ。

用例 諸般の情勢を考慮する。

百般…いろいろな面。諸般。

用例 武芸百般に通ずる。

よみかた 過般